



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 山口フィナンシャルグループ
コード番号 8418 URL <http://www.yvmfg.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 福田 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部主計室長

(氏名) 松井 龍哉

TEL 083-223-5511

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

特定取引勘定設置の有無 有

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	43,489	8.1	13,904	82.0	8,644	109.8
25年3月期第1四半期	40,231	3.5	7,641	△18.3	4,119	△14.3

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △5,219百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △2,557百万円 (△135.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	33.03	32.78
25年3月期第1四半期	15.78	15.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,098,944	495,029	5.4
25年3月期	9,327,235	521,423	5.5

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 490,455百万円 25年3月期 517,149百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	74,500	△10.1	21,000	9.9	13,000	6.2	49.69
通期	148,000	△6.3	40,000	△8.8	24,000	△11.9	91.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	264,353,616 株	25年3月期	264,353,616 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	2,568,890 株	25年3月期	2,748,544 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	261,690,555 株	25年3月期1Q	261,097,129 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に「平成26年3月期第1四半期決算短信説明資料」として添付しております。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

第三種優先株式	年間配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
25年3月期	円 —	円 11,500	円 —	円 11,500	円 23,000	百万円 253
26年3月期						

第四種優先株式	年間配当金					配当金総額 (合計)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
25年3月期	円 —	円 11,500	円 —	円 11,500	円 23,000	百万円 196
26年3月期						

(注) 第三種優先株式及び第四種優先株式については平成25年2月22日開催の取締役会決議に基づき、平成25年4月2日に全株式を取得し消却しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 7
4. 平成26年3月期 第1四半期決算短信 説明資料	P. 8 ~ 17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結経営成績につきましては、経常収益は株式等売却益などその他経常収益及び役員取引等収益の増加を主因に、前年同期比 32 億 58 百万円増加して 434 億 89 百万円となりました。一方、経常費用は株式等償却などその他経常費用の減少を主因に、前年同期比 30 億 4 百万円減少して 295 億 85 百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比 62 億 63 百万円増加して 139 億 4 百万円となり、四半期純利益は前年同期比 45 億 25 百万円増加して 86 億 44 百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末比 2,283 億円減少して 9 兆 989 億円となり、純資産は優先株式の取得および消却による資本剰余金の減少、その他有価証券評価差額金の減少を主因に、前連結会計年度末比 264 億円減少して 4,950 億円となりました。

主要な勘定の残高につきましては、預金及び譲渡性預金は前連結会計年度末比 1,847 億円減少して 8 兆 2,683 億円、貸出金は前連結会計年度末比 360 億円減少して 5 兆 7,759 億円、有価証券は前連結会計年度末比 2,221 億円増加して 2 兆 3,664 億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成 25 年 5 月 10 日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正に伴う会計方針の変更)

「連結財務諸表に関する会計基準」等の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 22 号 平成 23 年 3 月 25 日)等を、当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
現金預け金	347,075	180,499
コールローン及び買入手形	649,842	387,060
買入金銭債権	7,663	7,497
特定取引資産	9,231	8,927
金銭の信託	55,488	56,089
有価証券	2,144,382	2,366,487
貸出金	5,811,966	5,775,966
外国為替	12,739	14,198
その他資産	191,081	188,601
有形固定資産	90,008	89,973
無形固定資産	38,932	36,207
繰延税金資産	22,370	26,497
支払承諾見返	44,604	56,694
貸倒引当金	△98,152	△95,756
資産の部合計	9,327,235	9,098,944
負債の部		
預金	7,868,565	7,826,241
譲渡性預金	584,492	442,067
コールマネー及び売渡手形	42,990	49,794
債券貸借取引受入担保金	4,329	9,402
特定取引負債	2,961	3,144
借入金	29,236	26,859
外国為替	469	209
社債	95,000	95,000
その他負債	113,995	77,446
賞与引当金	2,911	1,550
退職給付引当金	1,113	1,638
役員退職慰労引当金	21	22
利息返還損失引当金	85	83
睡眠預金払戻損失引当金	1,086	921
ポイント引当金	75	70
特別法上の引当金	3	4
繰延税金負債	931	0
再評価に係る繰延税金負債	12,937	12,764
支払承諾	44,604	56,694
負債の部合計	8,805,812	8,603,915

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	79,628	60,069
利益剰余金	332,867	340,023
自己株式	△2,731	△2,558
株主資本合計	459,764	447,534
その他有価証券評価差額金	34,498	20,245
繰延ヘッジ損益	△446	△340
土地再評価差額金	23,332	23,015
その他の包括利益累計額合計	57,385	42,920
新株予約権	249	266
少数株主持分	4,024	4,307
純資産の部合計	521,423	495,029
負債及び純資産の部合計	9,327,235	9,098,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
経常収益	40,231	43,489
資金運用収益	26,481	26,521
(うち貸出金利息)	21,670	20,371
(うち有価証券利息配当金)	4,450	5,848
役務取引等収益	5,302	6,575
特定取引収益	265	947
その他業務収益	6,150	2,916
その他経常収益	2,030	6,529
経常費用	32,589	29,585
資金調達費用	2,371	2,355
(うち預金利息)	1,777	1,803
役務取引等費用	1,953	1,916
特定取引費用	120	—
その他業務費用	619	2,290
営業経費	22,835	22,262
その他経常費用	4,689	759
経常利益	7,641	13,904
特別利益	—	11
固定資産処分益	—	11
特別損失	27	7
固定資産処分損	18	6
減損損失	8	—
その他の特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	7,613	13,908
法人税、住民税及び事業税	764	2,169
法人税等調整額	2,654	2,811
法人税等合計	3,419	4,981
少数株主損益調整前四半期純利益	4,193	8,927
少数株主利益	74	283
四半期純利益	4,119	8,644

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,193	8,927
その他の包括利益	△6,751	△14,147
その他有価証券評価差額金	△6,699	△14,255
繰延ヘッジ損益	△51	105
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	2
四半期包括利益	△2,557	△5,219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,632	△5,503
少数株主に係る四半期包括利益	74	283

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

(優先株式の取得及び消却)

当社は、平成25年2月22日開催の取締役会において、当社発行の第三種優先株式及び第四種優先株式の全部につき、当社定款第16条第1項および定款附則第1条第1項、第2項の規定に基づく取得及び当該取得を条件として会社法第178条の規定に基づく消却を次のとおり決議し、平成25年4月2日に実施いたしました。なお、消却につきましては、資本剰余金より減額しております。

取得・消却株式の種類	第三種優先株式	第四種優先株式
取得・消却株式の総数	11,000 株	8,535 株
取得価額の総額	11,000,000,000 円	8,535,000,000 円

平成26年3月期 第1四半期決算短信 説明資料

【 目 次 】

1. 損益の状況			
(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】	(連)	----	9頁
(2) 3行合算【単体】	(単)	----	10頁
(3) 単体			
① 山口銀行	(単)	----	11頁
② もみじ銀行	(単)	----	12頁
③ 北九州銀行	(単)	----	13頁
2. 金融再生法ベースの категорияによる開示【単体】	(単)	----	14頁
3. 時価のある有価証券の評価差額【単体】	(単)	----	15頁
4. 預金・貸出金等の状況			
(1) 預金の残高【単体】	(単)	----	16頁
(2) 個人預り資産の残高【単体】	(単)	----	16頁
(3) 貸出金の残高【単体】	(単)	----	17頁
5. 自己資本比率	(連・単)	----	17頁

※本資料は単位未満を切り捨てて表示しております。

1. 損益の状況

(1) 山口フィナンシャルグループ【連結】

- 山口フィナンシャルグループの連結決算につきましては、経常収益は株式等売却益などその他経常収益及び役務取引等収益の増加を主因に、前年同期比32億58百万円増加して434億89百万円となりました。
- 経常利益は役務取引等利益や株式等関係損益など有価証券関係損益の増加、与信関係費用の改善を主因として、前年同期比62億63百万円増加して139億4百万円となり、四半期純利益は前年同期比45億25百万円増加して86億44百万円となりました。

	(単位：百万円)		(単位：百万円)	
	平成26年3月期 第1四半期 (3カ月)	前年同期比	平成25年3月期 第1四半期 (3カ月)	平成25年3月期 (参考) (年間)
連結経常収益	43,489	3,258	40,231	158,032
連結粗利益	30,409	△ 2,744	33,153	134,554
資金利益	24,177	49	24,128	94,156
役務取引等利益	4,658	1,310	3,348	14,859
特定取引利益	947	803	144	1,567
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	626 (△134)	△ 4,905 (△5,933)	5,531 (5,799)	23,971 (16,048)
経費(除く臨時処理分)(△)	21,748	△ 329	22,077	86,559
連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8,661	△ 2,414	11,075	47,995
連結コア業務純益	8,796	3,521	5,275	31,947
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-	-
連結業務純益	8,661	△ 2,414	11,075	47,995
臨時損益	5,255	8,671	△ 3,416	△ 4,086
うち株式等関係損益	2,374	6,886	△ 4,512	△ 3,002
うち不良債権処理額(△) ②	112	△ 3	115	449
うち貸倒引当金戻入益 ③	2,375	1,012	1,363	132
うち償却債権取立益 ④	4	2	2	21
経常利益	13,904	6,263	7,641	43,839
特別損益	4	31	△ 27	120
税金等調整前四半期(当期)純利益	13,908	6,295	7,613	43,960
法人税等合計(△)	4,981	1,562	3,419	16,218
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	8,927	4,734	4,193	27,741
少数株主利益(△)	283	209	74	508
四半期(当期)純利益	8,644	4,525	4,119	27,233
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 2,266	△ 1,016	△ 1,250	295

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用 + 信託報酬) + (特定取引収益 - 特定取引費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

3. 連結業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 連結粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

4. 連結コア業務純益 = 連結業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

5. 連結業務純益 = 連結粗利益 - 経費(除く臨時処理分) - 一般貸倒引当金繰入額

6. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(ご参考)

連結子会社数	12	△ 1	13	12
持分法適用会社数	4	-	4	4

(2) 3行合算【単体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

	平成26年3月期 第1四半期 (3カ月)		平成25年3月期 第1四半期 (3カ月)		平成25年3月期 (参考) (年間)
		前年同期比			
経常収益	38,510	1,383	37,127		151,304
業務粗利益	27,972	△ 3,571	31,543		128,430
資金利益	24,444	248	24,196		94,541
役務取引等利益	3,263	989	2,274		10,450
特定取引利益	50	75	△ 25		18
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	213 (△522)	△ 4,884 (△5,982)	5,097 (5,460)		23,420 (15,541)
経費(除く臨時処理分) (△)	19,568	△ 473	20,041		78,699
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	8,403	△ 3,098	11,501		49,731
コア業務純益	8,926	2,885	6,041		34,190
一般貸倒引当金繰入額 (△) ①	△ 2,515	149	△ 2,664		△ 6,698
業務純益	10,919	△ 3,247	14,166		56,430
臨時損益	2,965	8,953	△ 5,988		△ 10,616
うち株式等関係損益	2,561	7,056	△ 4,495		△ 3,096
うち不良債権処理額 (△) ②	233	△ 1,115	1,348		6,892
うち貸倒引当金戻入益 ③	-	-	-		-
うち償却債権取立益 ④	3	1	2		17
経常利益	13,872	5,713	8,159		45,744
特別損益	△ 434	△ 402	△ 32		△ 294
税引前四半期(当期)純利益	13,438	5,311	8,127		45,450
法人税等合計 (△)	4,369	1,073	3,296		14,974
四半期(当期)純利益	9,068	4,237	4,831		30,476
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 2,285	△ 967	△ 1,318		176

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 一般貸倒引当金及び個別貸倒引当金を合算して、取崩超過となっている場合は、3行合算上はそれぞれの勘定に戻した上で合計しております。

5. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

(3) 単体

①山口銀行

- ・ 経常収益は、貸出金利息等の資金運用収益が減少したものの、役務取引等収益の増加を主因として、前年同期比4億28百万円増加して216億83百万円となりました。
- ・ 経常利益は、役務取引等利益や株式等関係損益など有価証券関係損益の増加を主因として、前年同期比28億16百万円増加して72億80百万円となり、四半期純利益は、前年同期比18億66百万円増加して、44億8百万円となりました。

	平成26年3月期 第1四半期 (3カ月)		平成25年3月期 第1四半期 (3カ月)		平成25年3月期 (参考) (年間)
		前年同期比			
経常収益	21,683	428	21,255		81,807
業務粗利益	14,333	△ 3,158	17,491		66,686
資金利益	12,726	△ 125	12,851		51,136
役務取引等利益	1,926	485	1,441		6,504
特定取引利益	50	75	△ 25		18
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	△ 370 (△861)	△ 3,593 (△4,339)	3,223 (3,478)		9,026 (8,757)
経費(除く臨時処理分)(△)	9,964	△ 379	10,343		39,515
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	4,369	△ 2,779	7,148		27,171
コア業務純益	5,230	1,561	3,669		18,413
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-		-
業務純益	4,369	△ 2,779	7,148		27,171
臨時損益	2,923	5,589	△ 2,666		△ 534
うち株式等関係損益	1,541	4,721	△ 3,180		△ 1,709
うち不良債権処理額(△) ②	33	6	27		106
うち貸倒引当金戻入益 ③	730	262	468		1,594
うち償却債権取立益 ④	0	△ 0	0		8
経常利益	7,280	2,816	4,464		26,567
特別損益	△ 443	△ 442	△ 1		△ 65
税引前四半期(当期)純利益	6,837	2,375	4,462		26,501
法人税等合計(△)	2,428	509	1,919		9,788
四半期(当期)純利益	4,408	1,866	2,542		16,712
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 697	△ 256	△ 441		△ 1,497

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

②もみじ銀行

- ・ 経常収益は、資金運用収益と役務取引等収益の増加に加えて、貸倒引当金戻入益の計上等による臨時収益の増加により、前年同期比24億76百万円増加して156億87百万円となりました。
- ・ 経常利益は、有価証券関係損益の増加と与信関係費用の減少を主因として、前年同期比38億8百万円増加して57億22百万円となりました。また、法人税等の増加はあったものの、四半期純利益も前年同期比29億51百万円増加して40億99百万円となりました。

	平成26年3月期		平成25年3月期	平成25年3月期
	第1四半期 (3カ月)	前年同期比	第1四半期 (3カ月)	第1四半期 (参考) (年間)
経常収益	15,687	2,476	13,211	58,519
業務粗利益	10,856	△ 489	11,345	50,920
資金利益	9,208	390	8,818	33,470
役務取引等利益	1,121	436	685	3,228
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	526 (339)	△ 1,316 (△1,643)	1,842 (1,982)	14,222 (6,784)
経費(除く臨時処理分)(△)	7,373	△ 182	7,555	30,189
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	3,482	△ 308	3,790	20,731
コア業務純益	3,142	1,334	1,808	13,946
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	500	△ 500	△ 2,004
業務純益	3,482	△ 808	4,290	22,735
臨時損益	2,240	4,616	△ 2,376	△ 5,639
うち株式等関係損益	1,015	2,331	△ 1,316	△ 1,390
うち不良債権処理額(△) ②	75	△ 736	811	3,885
うち貸倒引当金戻入益 ③	1,410	1,410	-	-
うち償却債権取立益 ④	2	1	1	8
経常利益	5,722	3,808	1,914	17,096
特別損益	△ 0	30	△ 30	△ 67
税引前四半期(当期)純利益	5,721	3,838	1,883	17,029
法人税等合計(△)	1,621	886	735	4,484
四半期(当期)純利益	4,099	2,951	1,148	12,544
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 1,336	△ 1,646	310	1,872

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)

3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

③北九州銀行

- ・ 経常収益は、役務取引等収益が増加したものの、貸倒引当金戻入益の減少を主因として、前年同期比7億82百万円減少して35億34百万円となりました。
- ・ 経常利益は、前年同期比9億12百万円減少して8億69百万円となり、四半期純利益は、前年同期比5億80百万円減少して、5億60百万円となりました。

	(単位:百万円)		(単位:百万円)	
	平成26年3月期 第1四半期 (3カ月)	前年同期比	平成25年3月期 第1四半期 (3カ月)	平成25年3月期 (参考) (年間)
経常収益	3,534	△ 782	4,316	12,781
業務粗利益	2,783	78	2,705	10,823
資金利益	2,508	△ 18	2,526	9,934
役務取引等利益	215	68	147	717
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	58 (△ 0)	27 (△ 0)	31 (△ 0)	171 (△ 1)
経費(除く臨時処理分)(△)	2,230	88	2,142	8,994
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	552	△ 11	563	1,829
コア業務純益	552	△ 11	563	1,830
一般貸倒引当金繰入額(△) ①	-	-	-	-
業務純益	552	△ 11	563	1,829
臨時損益	317	△ 901	1,218	251
うち株式等関係損益	5	3	2	2
うち不良債権処理額(△) ②	4	4	-	11
うち貸倒引当金戻入益 ③	254	△ 933	1,187	209
うち償却債権取立益 ④	0	△ 0	0	0
経常利益	869	△ 912	1,781	2,081
特別損益	10	10	△ 0	△ 161
税引前四半期(当期)純利益	879	△ 902	1,781	1,919
法人税等合計(△)	319	△ 321	640	701
四半期(当期)純利益	560	△ 580	1,140	1,218
与信関係費用(①+②-③-④)(△)	△ 250	937	△ 1,187	△ 199

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 業務純益(一般貸倒引当金繰入前) = 業務粗利益 - 経費(除く臨時処理分)
3. コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益
4. 法人税等合計 = 法人税、住民税及び事業税 + 法人税等調整額

2. 金融再生法ベースのカテゴリによる開示【単体】

- ・山口銀行の不良債権額は前年同期末比17億円減少し、不良債権比率は前年同期末比0.14%低下しました。
- ・もみじ銀行の不良債権額は前年同期末比23億円増加し、不良債権比率は前年同期末比0.12%上昇しました。
- ・北九州銀行の不良債権額は前年同期末比99億円減少し、不良債権比率は前年同期末比1.62%低下しました。

		(単位:億円、%)		【参考】(単位:億円、%)
		平成25年6月末	平成24年6月末	平成25年3月末
3行合算	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	524	544	535
	危険債権	756	800	779
	要管理債権	244	274	260
	合 計	1,525	1,618	1,575
	総与信に占める開示額の割合	2.60	2.84	2.68
山口銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	167	192	174
	危険債権	428	452	433
	要管理債権	155	123	164
	合 計	751	768	772
	総与信に占める開示額の割合	2.33	2.47	2.37
もみじ銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	256	242	259
	危険債権	240	272	256
	要管理債権	61	22	66
	合 計	559	536	582
	総与信に占める開示額の割合	2.98	2.86	3.15
北九州銀行	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100	109	101
	危険債権	86	75	89
	要管理債権	27	128	29
	合 計	214	313	220
	総与信に占める開示額の割合	2.79	4.41	2.85

(注)1. 上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリ(以下、「開示区分」という。)により分類しております。

平成24年6月末・平成25年6月末の各開示区分の金額は、3月末から6月末までに倒産・不渡り・延滞等の客観的事実並びに信用格付の変動等を反映させた6月末時点における各残高を記載しております。

2. 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 … 破綻先、実質破綻先の債権

危険債権 … 破綻懸念先の債権

要管理債権 … 要注意先のうち、元本もしくは利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権

3. 時価のある有価証券の評価差額【単体】

- ・3行合算の「その他有価証券」の評価差額は、株式の評価差額が増加したことを主因に、前年同期末比256億円増加し、277億円の評価益となりました。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		平成25年6月末		平成24年6月末		平成25年3月末	
		時価	評価差額	時価	評価差額	時価	評価差額
3行合算	その他有価証券	23,578	277	19,388	21	21,360	496
	株式	1,017	385	728	97	963	330
	債券	20,748	△ 42	17,280	154	18,722	188
	その他	1,812	△ 64	1,379	△ 230	1,674	△ 21
山口銀行	その他有価証券	14,659	270	12,652	127	13,649	405
	株式	756	310	539	97	725	278
	債券	13,063	△ 4	11,422	121	12,191	142
	その他	840	△ 34	689	△ 91	732	△ 16
もみじ銀行	その他有価証券	8,737	△ 50	6,580	△ 119	7,530	50
	株式	119	19	90	△ 12	112	11
	債券	7,646	△ 38	5,799	31	6,476	43
	その他	972	△ 30	689	△ 138	941	△ 5
北九州銀行	その他有価証券	181	57	155	13	180	41
	株式	142	56	97	11	125	39
	債券	38	1	57	1	55	2
	その他	-	-	-	-	-	-

(注)1. 「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

なお、変動利付国債の時価については、昨今の市場環境を踏まえた検討の結果、引続き市場価格を時価とみなせない状態にあると判断した銘柄については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第25号平成20年10月28日)を踏まえ、合理的に算定された価額をもって貸借対照表計上額としております。

合理的に算定された価額は、第三者から提供を受けておりますが、保有している変動利付国債の元本部分と将来の期待クーポンを国債金利で現在価値に割り引いて算出されております。なお、将来の期待クーポンは、変動利付国債の商品性を考慮し、イールドカーブの形状、ボラティリティ、利払いのタイミングなどを調整したうえで見積もられております。

2. 満期保有目的の債券に係る「含み損益」は以下のとおりであります。

		(単位:億円)				【参考】 (単位:億円)	
		平成25年6月末		平成24年6月末		平成25年3月末	
		帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益	帳簿価額	含み損益
3行合算	満期保有目的の債券	11	0	17	0	11	0
山口銀行	満期保有目的の債券	11	0	17	0	11	0
もみじ銀行	満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-
北九州銀行	満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-

4. 預金・貸出金等の状況

(1) 預金の残高【単体】

- ・3行合算の預金残高は、個人預金と法人預金がともに増加し、前年同期末比2,761億円増加して8兆2,867億円となりました。
- ・山口銀行は、前年同期末比743億円増加して4兆7,880億円となりました。
- ・もみじ銀行は、前年同期末比1,269億円増加して2兆7,564億円となりました。
- ・北九州銀行は、前年同期末比749億円増加して7,422億円となりました。

	(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
	平成25年6月末	平成24年6月末	平成25年3月末
3行合算	82,867	80,106	84,647
山口銀行	47,880	47,137	49,172
もみじ銀行	27,564	26,295	28,202
北九州銀行	7,422	6,673	7,272

(注) 預金には譲渡性預金を含めております。

(2) 個人預り資産の残高【単体】

- ・保険は増加傾向にあるものの、投資信託がグループ会社のワイエム証券へ取扱いをシフトさせたことから減少しております。

		(単位:億円)		【参考】 (単位:億円)
		平成25年6月末	平成24年6月末	平成25年3月末
3行合算	公共債	1,287	1,606	1,354
	保険	4,600	4,080	4,461
	投資信託	1,100	1,428	1,184
	合計	6,987	7,115	7,000
山口銀行	公共債	876	1,084	930
	保険	1,926	1,606	1,837
	投資信託	645	853	699
	合計	3,448	3,544	3,467
もみじ銀行	公共債	325	421	334
	保険	2,520	2,335	2,474
	投資信託	386	476	410
	合計	3,231	3,234	3,219
北九州銀行	公共債	85	100	89
	保険	153	138	149
	投資信託	68	97	75
	合計	306	336	313

(注) 公共債・投資信託は額面ベース、保険(年金保険・終身保険等)は販売額の累計ベースであります。

(3) 貸出金の残高【単体】

- ・3行合算の貸出金残高は、前年同期末比1,753億円増加して5兆7,932億円となりました。
- ・山口銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比1,160億円増加して3兆1,803億円となりました。
- ・もみじ銀行は、平成24年9月に住宅ローン債権の証券化を実施したものの、前年同期末比19億円増加して1兆8,526億円となりました。
- ・北九州銀行は、法人向け貸出を中心に前年同期末比573億円増加して7,601億円となりました。

(単位:億円)

【参考】 (単位:億円)

		平成25年6月末	平成24年6月末	平成25年3月末
3行合算	貸出金	57,932	56,179	58,199
	うち個人ローン	10,278	10,695	10,202
	うち住宅ローン	8,709	9,067	8,595
	うちその他ローン	1,569	1,628	1,606
	中小企業等貸出金 (A)	33,191	33,494	33,835
	貸出金残高(国内) (B)	57,673	55,948	57,937
	中小企業等貸出金比率 (A) / (B)	57.55%	59.86%	58.39%
山口銀行	貸出金	31,803	30,643	32,253
	うち個人ローン	5,048	4,842	5,037
	うち住宅ローン	4,312	4,085	4,287
	うちその他ローン	736	757	750
	中小企業等貸出金 (C)	15,441	15,202	16,059
	貸出金残高(国内) (D)	31,555	30,426	32,003
	中小企業等貸出金比率 (C) / (D)	48.94%	49.97%	50.18%
もみじ銀行	貸出金	18,526	18,507	18,290
	うち個人ローン	4,000	4,795	3,958
	うち住宅ローン	3,425	4,142	3,351
	うちその他ローン	574	652	606
	中小企業等貸出金 (E)	11,949	12,814	11,950
	貸出金残高(国内) (F)	18,516	18,493	18,279
	中小企業等貸出金比率 (E) / (F)	64.53%	69.28%	65.38%
北九州銀行	貸出金	7,601	7,028	7,655
	うち個人ローン	1,230	1,057	1,206
	うち住宅ローン	971	839	956
	うちその他ローン	258	218	249
	中小企業等貸出金 (G)	5,800	5,477	5,824
	貸出金残高(国内) (H)	7,601	7,028	7,655
	中小企業等貸出金比率 (G) / (H)	76.30%	77.93%	76.09%

(注) 「中小企業等貸出金」及び「貸出金残高(国内)」には、海外店分及び特別国際金融取引勘定分は含まれておりません。

5. 自己資本比率

平成25年6月末時点の自己資本比率(当社及び山口銀行:国際統一基準(バーゼル3)、もみじ銀行及び北九州銀行:国内基準(バーゼル2))につきましては、現在算定中であり、確定次第開示いたします。